

# 『時事直言』 No.1493 2021年9月17日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 日本語] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T\\_Masuda\\_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](https://www.youtube.com/channel/UC...)



時事評論家 増田俊男

## 東へ、東へと草木もなびく、東は居いか、住みよいか アメリカ(西)の覇権はどのように中国(東)に移行するか？

上記は私の「インターネット国際政経塾」のメインテーマである。

そして下記は9月10日から昨日9月16日まで行った講義内容である。

### <第1日目>

1. ニッケイ平均株価の年内ターゲット 38,975 円
2. SQ 後の株価動向
3. 注目の FOMC(9/21-22)
4. 金融緩和の罫
5. Covid-19と金融・財政リセット

### <第2日目>

1. 国際資金の流れが変わる
2. 菅総理の自民総裁選辞退で何故株価が急騰したのか
3. 9/11(セプテンバー・イレブン)から20年、「テロとの戦い」とは何だったのか
4. 日本だけまだ戦後が終わっていない
5. ケネディ暗殺の真相をバイデンは10月に発表するか、それともケネディ同様暗殺されるか

### <第3日目>

1. 8/20(ニッケイ 27,013 円)から 9/13(ニッケイ 30,600 円)まで 14 営業日で 3,587 円上げたニッケイは、今後上がるのか下がるのか？
2. 「一つの中国」で始まった米中関係の今後
3. 対中脅威ではなく、中国の対米脅威が問題だ
4. 中国(日本を含む)は財政・金融制度最先進国、アメリカは最後進国
5. 2025 年 IMF 主導金本位制と中国のポジション

### <第4日目>

1. NY から東京への資金シフトの確証を得た！
2. 脱日銀依存の次は誰に依存するのか？

<第5日目>

1. バイデンの「二元思考」とは何か？
2. 虎(中国)の尻尾(台湾)を踏んでも怒らない虎
3. アメリカの内戦の為の対中冷戦

講義は FRB(米連邦準備理事会)の金融政策決定会合 FOMC(連邦公開市場委員会)が  
終わる日本時間 9 月 22 日まで続く。

昨日 5 日目の「(アメリカが)虎の(中国)の尻尾(台湾)を踏んでも怒らない虎(習近平)で述べ  
たように、中国にあらゆる挑戦を仕掛けるバイデン大統領と受けて立つ習近平国家主席には「阿  
吡の呼吸の裏」がある。

見聞きする表の世界にとらわれず、表を動かす裏(真実)を知れば市場と冷戦を動かす原動  
力が分かる。

本日第 6 日目の講義内容は下記である：

1. 本年大納会ニッケイ 38,975 円を可能にするこれだけの理由
2. 中国を張り子の虎にするアメリカの意図
3. 9/11 を否定し、一転犯行を認めたビン・ラーディン(アルカイダ)と同じ習近平
4. 虎(中国)の尻尾の台湾の運命は
5. 米中両国のターゲットは「嘘から出た真(まこと)」

いよいよ米中の核心に迫ることになります。

「インターネット国際政経塾」(増田塾)に今参加すれば 9 月 10 日からの一部始終をお好きな  
時にご覧になれます

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。